

ごあいさつ

カリタスジャパンの活動を、いつも変わらない愛の心をもって支えてくださる皆様に、心から感謝申し上げます。カリタスジャパンの活動について、この一年間の報告書をお届けいたします。

2011年3月11日以来、東日本大震災によってもたらされた各地の被害からの復興活動は、現在もカリタスジャパンの最優先課題です。被災各地は徐々に復興の歩みを進めておりますが、原発事故後の福島には長期にわたる支援が不可欠だと感じています。日本の司教団は、震災10年目となる2021年3月まで、復興支援活動を継続することを決定しております。カリタスジャパンでも、国内外のみなさまから寄せられた募金をもとに、被災地での活動支援を継続して参ります。

もちろん東北以外でも災害は頻発しております。2016年には熊本でも大きな地震が発生し、多くの方が被害を受けました。加えて世界各地で自然は猛威を振り、自然災害による被害は後を絶ちません。気候変動や温暖化の影響を指摘する声も聞かれます。教皇フランシスコは回勅「ラウダート・シ」において、カトリック教会が環境問題に総合的に取り組む必要性を強調されていますが、それがカリタスジャパンにとっても重要な活動指針となっています。環境問題は「人間は何のために生きるのか」という究極的な問いかけに答えを見いだす一つの道として、必ず取り組まなくてはならない課題です。

現在カリタスジャパンでは、これまでの活動を振り返りながら、活動計画の策定を進めています。活動計画の策定作業を通じて自らの姿勢を見つめ直し、さらに充実した愛の奉仕活動に取り組むことができるよう、これからも努めて参ります。

神の望まれる世界を実現できるように、ともに歩んで参りましょう。

カリタスジャパン責任司教 菊地 功



2016年度献金・募金総額 ¥451,930,930

四旬節献金	¥64,729,740
国内援助	¥5,409,929
海外援助	¥27,634,340
国内緊急災害	¥89,274,394
海外緊急災害	¥5,332,876
クリスマス募金	¥19,970,483
事務局運営寄付	¥1,191,028
マンスリーサポーター募金*	¥3,863,750
東日本大震災	¥234,524,390
国内からの募金	¥9,950,111
海外からの募金	¥224,574,279

2017年より、カトリック中央協議会の会計年度が変更となったため、2016年度の年次報告は2016年4月から12月までの活動・会計報告となります。

* マンスリーサポーターとは、毎月定額寄付にて支援下さる方です。



(宗)カトリック中央協議会
カリタスジャパン

135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館
Phone: 03-5632-4439 Fax: 03-5632-4464
E-mail: info@caritas.jp

<http://www.caritas.jp>

募金受付口座
郵便振替口座：00170-5-95979 (宗)カトリック中央協議会 カリタスジャパン

ゆうちょダイレクト、その他の金融機関からの送金の場合は「ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュー)店 当座 0095979」となります。その際は、別途ファックスかお電話にて、お名前、金額、ご意向をお知らせいただきますようお願いいたします。

写真

表紙：モンゴル 子どもセンターの園児（男の子）
裏表紙：モンゴル 子どもセンター 給食の様子

カリタス ジャパン

2016年度年次報告書

カリタスジャパン 戦略計画

カリタスジャパンは「国際カリタス管理基準」に基づき、一年をかけて2017年～2019年の戦略計画を策定しました。戦略計画とは、活動計画を立てる際に、何を重点的に進めていくかを示すものです。

2016年9月～12月の間、カリタスジャパンの委員や教区担当者、支援者など関係各所の方々に集まっていただき、外部ファシリテーターも交えて、今までの私たちの活動の振り返り、自己評価を行うワークショップなどを3回ほど開催し、最終的な戦略計画が完成しました。

カリタスジャパン戦略計画（2017年～2019年）

1. 「カリタス」のものとの連帯

すでに各地で行われている「愛（カリタス）の業」を掘り起こし、つなげ、協働する。

2. 広報の充実

日本全国のカリタスの精神で活動する人々の声を聴き、社会活動をサポートするための有意義な情報を発信する。

3. プログラムデザインの強化

明確な方向性と優先事項を確定して関係者にそれを周知し、コミュニケーションを充実させ、定期的な振り返りを行いながら、プログラムを実施していく。

なお、今後2017年前半にかけて、さらに詳しい「活動計画」を立て、各部会や事務局で実行していきます。

啓発部会

第4回日韓カトリック自殺対策共同企画（視察、会議参加）

日時：2016年6月30日～7月4日

場所：秋田大学、カトリック秋田教会

日程：

7月1日 秋田県自殺対策に関する視察

7月2日 秋田県メンタルヘルスサポーターフォローアップ研修会参加

7月3日 自死・自殺対策に取り組む「宗教者のつどい」



援助部会

■国際カリタスから全世界に出された、災害・紛争時における緊急支援要請（Emergency Appeal）への対応 19件

■各国カリタスと連携した、海外における開発プロジェクト実施支援 16件

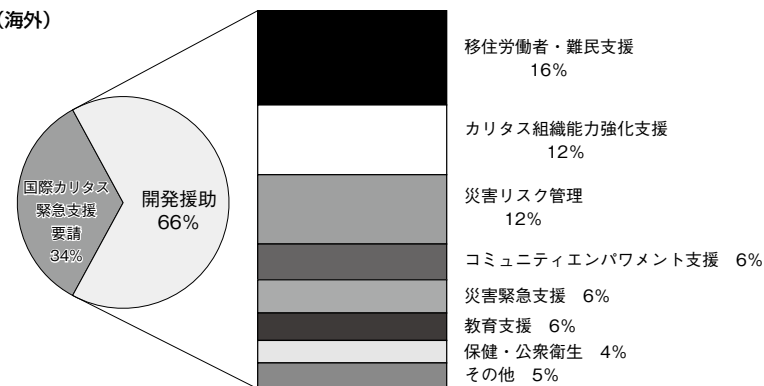
■国内の草の根レベルで活動する団体への支援（熊本地震含む） 11件

2016年度援助総額 ￥356,280,133

	地域別支援額（単位：千円）	
東日本大震災	235,126	

日本国内（熊本地震含む）	41,680	34.4%	
アジア・オセアニア	43,989	36.3%	
アジア全般	1,051	スリランカ 4,152	フィリピン 1,221
インド	7,213	ネパール 1,170	ミャンマー 6,284
インドネシア	9,489	パキスタン 1,211	モンゴル 5,463
カンボジア	2,205	バングラデシュ 4,531	
アフリカ	17,573	14.5%	
アフリカ全般	2,483	ジンバブエ 1,110	ニジェール 1,265
ウガンダ	2,162	スーダン 2,020	南スーダン 2,148
カメルーン	1,160	セネガル 1,038	ルワンダ 1,910
シエラレオネ	1,118	チャド 1,160	
ラテンアメリカ・カリブ	2,220	1.8%	
エクアドル	2,220		
中近東	9,724	8.0%	
イラク	3,050	シリア 3,459	ヨルダン 3,215
欧州	5,969	5.0%	
ギリシャ	1,221	国際カリタス 4,748	
総計（東日本大震災以外）	121,154	100%	

分野別（海外）



移住労働者・難民支援

家計を助けるために海外へ出稼ぎ労働に出るプランテーション地域の女性たち。この女性たちの人間としての権利を守るための支援を行っています。（スリランカ）

人身売買へつながる隣国への移住労働は深刻な問題です。特に若年層に焦点を当て、移住労働の厳しい現実や身を守る方法を伝え、よりよい選択をしていくための啓発プログラムを実施しています。（ミャンマー）

イラクからの難民および長引く内戦により国内で避難民となっている人々へ、医療、物資の支援を実施しています。（シリア）

一般家庭で家政婦として働く女性移住労働者、またイラクからの難民に対して、医療支援、法的支援、就業支援などを行っています。（ヨルダン）

災害リスク管理

将来起こりうる災害に対応できる強いコミュニティ作りを支援しています。（インドネシア）



国内避難民への物資・暖房器具支援（シリア・ハサカ教区）

コミュニティエンパワメント（地位向上）支援

社会的地位の低い女性たちが、権利を回復し、経済的に自立していくための支援を行っています。（インド）

教育支援

首都近郊の貧困地域に住む世帯の子どもたちが通うセンターを支援しています。子どもたちが就学前教育を受けることにより、家族全体の福利が向上しています。（モンゴル）

虐殺で親を亡くした子どもたちが教育を受けられるよう、生活全般の側面から支援しています。（ルワンダ）

保健・公衆衛生

内戦のため、劣悪な環境での生活を余儀なくされている人々、特に乳幼児と妊産婦を対象に医療支援、栄養改善、職業訓練を行っています。（イラク）

報告会

- フィリピン台風視察報告会（2016年11月／仙台教区大船渡教会）
- モンゴル視察報告会（2016年12月／長崎教区佐世保地区）



土砂災害軽減のための住民主導の植林活動（インドネシア・ジャワ島ムラビ山麓クルンタン村）